

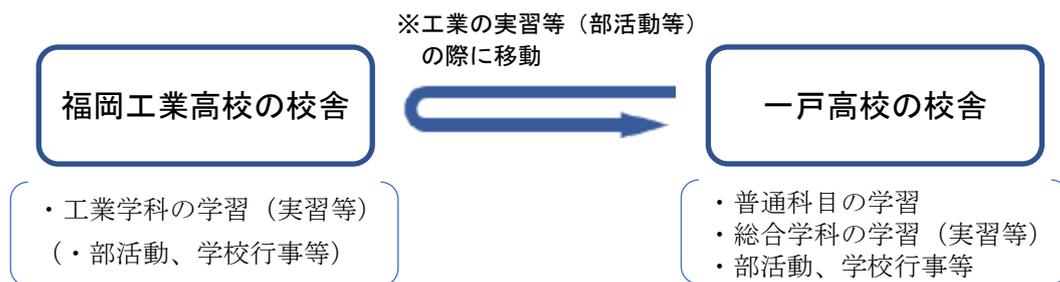
校舎制について（福岡工業高校と一戸高校の校舎を利用）

1 校舎制とは

学校運営において統一した基本方針のもとに、既存の複数の校舎を有効活用しながら、一つの学校として機能させるものです。大学におけるキャンパス制に相当し、校歌・校章・制服等も一つの学校として共通のものとなります。

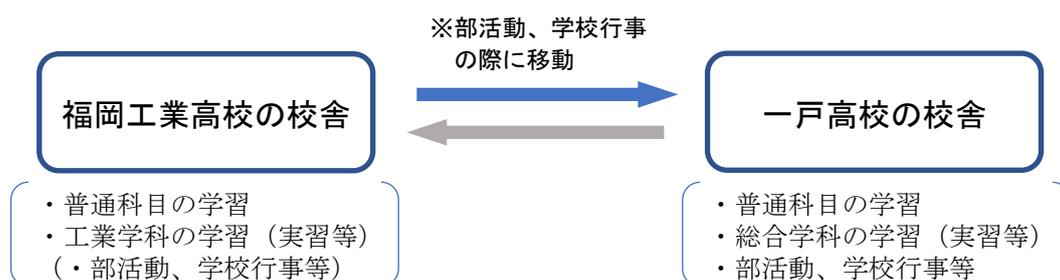
2 校舎制の形式（2種類）

(1) 基本的に同一校舎で学び、工業の実習等の際に生徒が移動するパターン



メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 所属する学科、系列以外の科目について、学科、系列を越えて一緒に学ぶ機会を設定しやすい。 普段の生活や学校行事、部活動等とおして、一つの学校として一体感を形成しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業実習等の際、校舎間の移動が必要となる。 （距離：約6km、移動時間：10～15分程度） 福岡工業高校の新築校舎は、工業実習のみの活用となる。

(2) 基本的に別々の校舎で学び、部活動や学校行事の際に生徒が移動するパターン



メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、普段の授業で校舎間の移動を必要としない。 福岡工業高校の新校舎を、普通教科の学習や、工業実習等の全てに活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 所属する学科、系列以外の科目について、学科、系列を越えて一緒に学ぶ機会を設定することが難しい。 両校舎の生徒の交流が限定的となり、一つの学校として一体感を持ちにくい。 授業によっては、教員の校舎間の移動が必要となる。 部活動等の際、生徒、教員の移動が必要となる。